

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	結核・じん肺	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-05		氏名	有吉隆之
			電話		64-1819

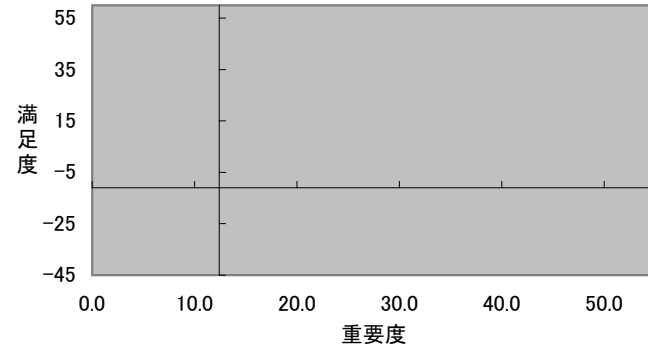
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が結核に感染することを防ぎ、じん肺患者に対してはその療養を見舞う。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	結核登録者は減少傾向にあるが、新規発生者の多くは高齢者である。抵抗力の弱い乳幼児、高齢者への対策が重要となっている。 じん肺認定患者は合併症として肺がんが認められ、わずかに増加している。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 検診などの実施 健康教育の推進

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)				
満足度(%)				



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容を再見直し、市民満足度を高める事業を行う

← 重要度 →

調査結果に対するコメント、市民の反応等	結核はまだまだ油断のできない感染症であるため、検診率の向上に努力する。じん肺認定患者については、肺機能低下に留意し、健康相談に応じていく必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 結核検診受診率	目標	%	54.0	55.0	60.0	H21	50.0
	実績	%	58.2	47.9	34.6	H23	50.0
	達成率	%	107.8	87.1	57.7	H28	50.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 健康増進教室参加率	目標	%	27.0	27.0	30.0	H21	30.0
	実績	%	18.6	17.8	23.5	H23	35.0
	達成率	%	68.9	65.9	78.3	H28	40.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標②	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-
参考指標③	目標					H21	
	実績					H23	
	達成率	%				H28	
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース	
				平成18年度			平成19年度			平成20年度						
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数				
1	結核予防事業	B	結核予防事業	法定	4,697	3,465	0.65	4,164	1,751	0.27	3,887	299	0.05	☆☆☆☆☆	その他	5,646
2	じん肺患者見舞金事業	C	じん肺患者見舞金事業	単市	10,914	2,275	0.25	10,677	1,356	0.16	10,153	658	0.07	☆☆	その他	7,074
3	感染症予防事業	B	感染症予防事業	補助	0	0	0.00	0	0	0.00	10	1,244	0.17	☆☆☆	その他	462
			狂犬病予防事業	法定	287	4,650	0.65	267	2,227	0.36	248	1,475	0.26	☆☆☆☆	その他	0
					平成18年度			平成19年度			平成20年度					計
					15,898	10,390	1.55	15,108	5,334	0.79	14,298	3,676	0.55			13,182

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	3	検診等市が実施すべき事業である。	3	検診等市が関与すべき事業である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	じん肺見舞金は労災補償と明確な差異がなくなってきている。じん肺患者の健康増進につながる施策に変換していく必要がある。	3	予防対策に重点をおいた事業であり、事業構成は妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	結核感染防止のために必要な事業である。	3	結核感染防止の事業推進が図られており、施策は有効である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	結核の検診率向上に努めなければならない。じん肺患者の健康教育を充実させるとともに、じん肺患者見舞金の見直しを検討する必要がある。		結核検診の受診率が目標値より低いことから、啓発活動を実施するなど受診率向上に向けた努力が必要。	
二次評価者コメント	じん肺は、高齢になるにつれて発病率が高い。また、他の病気から引き起こす事例が見られることから、自己管理に努めるとともに健康相談、健康診断を定期的に受診することへの指導を行う必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 民生部長 氏名 山口 和夫			3中立	平均的な配分